

しずく

No.
130
2024.7

●編集●
広報広聴常任委員会

●発行●
岩手県雫石町議会

議会だより

- 今号の主な内容
- 特集コミュニティ・スクール2
6月定例会…8
 - 町政を問う
 - 一般質問 12議員が質問…11
 - 委員会レポート…20
 - ふるさとへの便り(96)…23
 - 今号の表紙／なかよしシリーズ
『わたしたち4きょうだい』…24

特集
コミュニティ・
スクールってなんだろう

コミュニティ・スクールって なんだろう 知っているようで知らない。コミュニティ・スクールを解説

近年、教育の在り方が大きく変化する中、地域と学校が一体となって子どもたちの成長を支える「コミュニティ・スクール」が注目を集めています。この新しい学校運営の仕組みは全国で広まり、雫石町も導入しています。その意義や課題について、町民の皆様とともに理解を深めていこうと特集しました。



コミュニティ・スクールってなんですか

学校運営協議会を設置している学校をコミュニティ・スクールといいます。町は小中学校6校が令和3年からコミュニティ・スクールになりました。そして町では地域と学校が連携・協力・協働して子どもを育てていく地域学校協働活動との両輪を目指しています。これを雫石型コミュニティ・スクールと呼んでいます。

地域と学校双方が子どもを育てる当事者となり、目標を共有しながら自分にできる活動で子育てに関わっていくことにより、子どもは地域への愛着を育み、多様な考え方を吸収することができます。目標を共有することで地域連携や活性化につながればいいですね。



下川
社会教育
指導員



学校運営協議会の役割はなんですか

学校運営協議会の主な役割は3つあります。

- ①校長が作成した学校運営の基本方針を承認すること
- ②学校運営に関して教育委員会や校長へ意見を述べるができる
- ③教職員の任用に関して任命権者へ意見を述べるができる



下川
社会教育
指導員



そもそもなぜコミュニティ・スクールが必要とされているのですか

現在、子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化、多様化しています。学校と家庭だけでなく、地域社会全体で子どもたちや学校の抱えている課題を考え、解決していく必要があるからです。



下川
社会教育
指導員

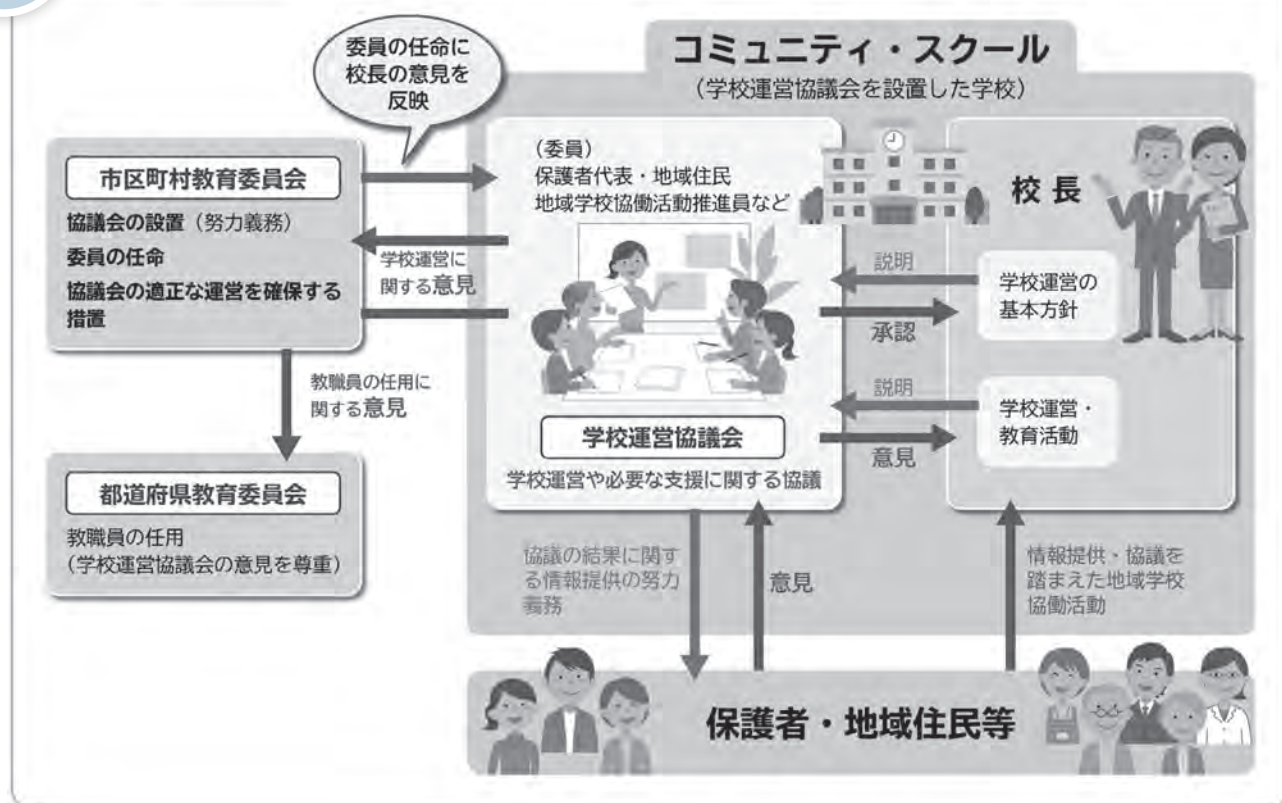


雫石ではすでに地域連携がうまく行われていますが、コミュニティ・スクールは必要ですか

これまでは、学校が必要な時に地域の力をお借りする学校支援活動や、地域の活動に学校が協力する地域支援活動が多かったと思います。これまでとの大きな違いは、地域の人たちと学校が目標を共有しながら教育の当事者として学校運営に関わっていくことです。大切なのは、学校にも地域にもメリットのある活動であることなんです。



下川
社会教育
指導員



文部科学省「これからの学校と地域 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動」パンフレットより引用

コミュニティ・スクールの魅力は

子どもにとっての魅力

- 子どもたちの学びや体験活動が充実します。
- 自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。
- 地域の担い手としての自覚が高まります。
- 防犯・防災等の対策によって安心・安全な活動ができます。

教職員にとっての魅力

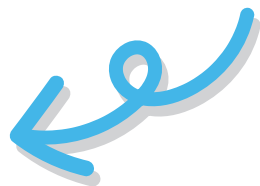
- 地域の人々の理解と協力を得た学校運営「社会に開かれた教育」の実現が可能となります。
- 地域人材を活用した教育活動が充実します。
- 地域の協力により子どもと向き合う時間が確保できます。

保護者にとっての魅力

- 学校や地域に対する理解が深まり、家庭教育との相乗効果が生まれます。
- 地域の中で子どもたちが育てられているという安心感があります。
- 保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。

地域の人々にとっての魅力

- 経験を生かすことで生きがいを感じることにつながります。
- 学校が社会的つながり、地域のよりどころとなります。
- 学校を核とした地域ネットワークが形成され、地域の課題解決につながります。
- 地域の防犯・防災体制等の構築ができます。



4ページからは、
各学校の取り組みを紹介

雫石小学校

●よしやれ祭りに参加

1、2年生は「ロック調よしやれ」の踊りを披露し、5、6年生は鼓笛隊で地域の祭りを盛り上げました。



1、2年生が踊るロック調よしやれ

●総合的な学習

～雫石の昔・今・未来～

4年生は保護者や町職員とともに地域の魅力（お宝）を探しに行きました。

※この他に他学年も「雫石よしやれ通り探検」など様々な活動を行っています。



みんなで地域の「お宝」を探し、魅力を知る

七ツ森小学校

●七ツ森ワークショップ

～みんなでツツジを栽培しよう！～
雫石町・（公社）岩手県緑化推進委員会 雫石支部・七ツ森小学校学校運営協議会共催

ツツジ100本を植栽し将来にわたる七ツ森の美しい景観を作っていく活動をしました。



七ツ森がツツジの咲き誇る新たな景勝地へ

●賢治ゆかりのオキナグサを植えた

オキナグサを植栽し、オキナグサと

宮沢賢治のことをたくさん知り、活動の大切さを学びました。



オキナグサを題材に宮沢賢治を学ぶ児童たち

※この他に、学校運営協議会と町農林課、小岩井農牧の方さらには林業関係者など総勢40名による「七ツ森に丸太ベンチ作製・設置」など活発な活動が行われています。

西山小学校

●西山小学校運動会

地域の方たちが主導となり防災チャ
ンスレースを実施。会場みんなで防
災を学びました。



防災を学んだチャンスレース

●岩手大好きクラブ

地域の先生を招いて学び、また児童
たちも学校から出かけて様々な体験
学習しています。



乳しぼり体験もしたクラブ活動

※この他に「畑作りボランティア」、
「裁縫^{さいほう}、ミシンボランティア」など
たくさん活動が行われています。

御明神小学校

●デワノトネリコの苗木植え

地域と協働しチョウセンアカシジミ
の保護活動に取り組んでいます。



チョウセンアカシジミの保護活動

●世代間交流会と感謝の会

地域の方が指導して、5、6年生が
「縄ない体験」を行いました。



地域の方の指導で縄ない体験と世代間交流

※この他に「橋場の文化祭」や「春木
場駅ギャラリー、春木場駅清掃」な
ど多くの活動が行われています。

御所小学校

●消防操法見学会開催

消防団第2分団による消防操法の見学会で地域防災を学びました。



各学年代表児童の放水体験

●親子でクリーン作戦

ファミリーランドなど、地域の清掃を保護者ボランティアと行いました。



全校児童が13班に分かれ、地域を清掃

※この他に旧小学校区への「ふるさと遠足」が実施され、「鶯宿温泉ウォークラリー」や「旧大村小学校でそば打ち体験」なども行われています。

栗石中学校

●まごころおはがき

75歳以上の一人暮らし世帯に、まごころを込めたはがき（年賀状や暑中見舞い）を届けました。



世代間交流にもなる「まごころおはがき」

●家庭部が実施する6次産業化実習

中学校校門前の畑を耕作し、育てた野菜を軽トラ市やしずくいし産業まつりで販売しています。



丹精込めた農作物を軽トラ市で直売

※この他に、1年生の「ふるさと学習」や2年生の「職場体験学習」など、多くの地域の方の協力を得ながら活動しています。

今後の取り組み

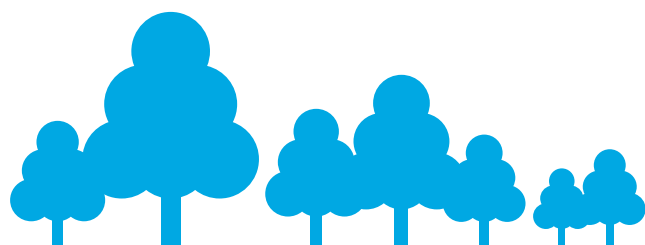
- 地域と学校が目標を共有しウィン・ウィンの関係性のある地域学校協働活動を実施
- 生徒の課題点や地域のニーズ等から学習内容を考え、学びへとつなげていく
- 学校運営協議会の目的や意識に基づき、各活動を継続して実施

今後の課題

- 地域住民のコミュニティ・スクールに対する認知度はまだまだ低い
- 各種活動に協力いただける人材の発掘
- 地域のボランティアの募集の仕方を工夫していく
- スクールガードの高齢化が進み少なくなっている地区がある



新たな取り組みをスタート、今後に期待



議会はこう考える

コミュニティ・スクールは、地域と学校の連携が強化され、地域の課題や困りごとを共有できるよつになります。保護者や地域住民が当事者として子どもたちの成長を支えていくことで、地域の特色を活かした学校づくりが可能になることや、子どもたちが自分の住む地域に愛着を持つようになること、防犯性が強化され安全なまちづくりにつながるなど多くのメリット

トがあると考えます。

そのために、子どもたちの成長を支える学校づくりと、地域の活性化を同時に実現することを期待し、これからは町ができるのかを町全体で考え、わが町の子どもたちが「ふるさと栗石」に誇りと愛着を持てるよう、議会はコミュニティ・スクールに関心を向けていくことが重要と考えます。



学校支援 ボランティア

募集してます!

各種活動に協力をいただける人材を求めています。ぜひ、地域の皆様のご協力をお待ちいたします。



町教育委員会
地域学校協働活動推進員
鈴木 郁子さん

栗石の教育の基本理念「ふるさと栗石への誇りと愛着を育てる教育」を実現するために、コミュニティ・スクールはとても良い制度だと思います。地域の大人たちと先生方が、栗石の子どもたちにどんな大人になって欲しいか、何を体験させたいかを学校運営協議会や熟議を通して話し合い、共有して自分たちに出来ることをしながら子どもの教育に携わっていくのが栗石型コミュニティ・スクールです。学校にも地域にもウィン・ウィンになるような活動を心がけコーディネートしています。

問合せ

町教育委員会生涯文化スポーツ課
TEL 692-4181 (町中央公民館内)

地域学校協働活動推進員 鈴木

6月定例会のあらまし

補正予算案、 財産取得案 などを可決

● 物価高騰対応重点支援
● 給付金の交付
● 国際交流海外派遣事業
● 除雪トラック2台の購入



東京藝大生から指導を受ける県中生

令和6年6月定例会は、6月6日から14日までの9日間の会期で行われました。本定例会では、報告2件、承認3件、条例の一部改正4件、補正予算3件、その他2件を審議しました。

令和5年度補正予算

会計名	補正後予算額 (補正予算額)
一般会計 (第10号)	117億324万5千円 (2億5,960万5千円減)

令和6年度補正予算

会計名	補正後予算額 (補正予算額)
一般会計 (第1号)	106億2,151万2千円 (2億3,151万2千円増)
国民健康保険特別会計 (第1号)	18億6,647万6千円 (47万6千円増)
後期高齢者医療特別会計 (第1号)	2億2,654万4千円 (54万4千円増)

主な補正予算

総務費県補助金

○地域経営推進費補助金

788万6千円

県の「いわて県民計画（地域振興プラン）」の推進に取り組む市町村事業に対する単独補助金（補助率1/2）。持続可能な開発目標関連事業、網張温泉源泉整備事業、栗石中学校虹色コンパスふるさと学習支援事業、東京藝術大学音楽創生交流事業などについて、令和6年4月に採択通知を受け増額。

電子自治体推進事業

○システム標準化環境構築対応業務委託料 809万6千円

町の住民基本台帳システムを国の標準化基準に適合したシステムに移行する時期が令和7年6月となり、年度内に必要となる作業を実施する事業。

物価高騰対応重点支援給付金事業

○定額減税補足給付金

1億2000万円

○低所得者支援金

5750万円

国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、令和6年度住民

税非課税世帯に対し10万円、令和6年度住民税均等割のみ課税世帯に対し10万円、低所得者の子育て世帯で18歳以下の児童1人につき5万円を給付。また定額減税しきれないと見込まれる方に対し本人及び扶養人数に応じて、1人につき4万円を調整給付。

国際交流推進事業

○国際交流海外派遣事業委託料

797万円

栗石中学校2年生8名をアメリカ合衆国バーモント州ランドルフ町に派遣し、ランドルフ中学校との交流を通してアメリカの歴史と文化を学び、国際感覚を身につけた人材を育成。

学校維持管理事業(栗石中)

○セミナーハウス空調設備設置

工事 129万4千円

部活動の地域移行やコミュニティ・スクールでの活用を目的に、セミナーハウスの利活用を再開するため、1階研修室にエアコンを設置する空調設備設置工事。

主な質疑

Q 【畠山議員】セミナーハウスの研修室に設置する空調設備に、約129万という金額は、あまりにも高すぎるのではないか。

A 【教育次長】研修室は広さ90平米あり、地域整備課の技師に確認したところ、面積的にも金額的にも妥当ではないかという助言を得ている。

Q 【山崎議員】セミナーハウスは、いまのところ吹奏楽部だけの利用だ。家庭科部は、室温の高くなる調理室で活動している。生徒が楽しく部活動を行えるという公平性の担保は、どこで保たれているか。

A 【教育次長】吹奏楽部だけではなく、当然全ての部を支援していく考え。必要とされている支援がそれぞれの部で異なるので、各学校と協議のうえ優先順位をつけながら支援していく。

Q 【徳田議員】国際交流海外派遣事業は、子どもたちにも非常に良い経験となる。ランドルフ町からも来町して交流を図っているが、大きな効果はどのようなものか。

A 【教育次長】子どもたちの国際感覚や視野が広がると考えている。通常2年に1回、ランドルフ町からも生徒が来町し、学校の授業で全生徒とふれ合う機会がある。国際感覚が培われてきたと捉えている。

財産の取得

除雪トラック2台の購入

現有の車両は、経年劣化による故障が頻発し、業務に支障をきたしているため更新するもの。

除雪トラック(7t級)

契約予定額 3663万円

除雪トラック(5t級)

契約予定額 2101万円



日本の文化を学ぶランドルフ町生徒たち



エアコン設置に疑問を呈する議員たち

令和 6 年第 3 回雫石町議会定例会 | 議決結果等一覧

会期：6 月 6 日（木）～6 月 14 日（金）

議案等 番 号	件 名	高橋 公史	小笠原百 合子	畠 山 操	金子 一 男	坂井 尚 樹	徳田 幸 男	岡本 忠 美	幅 秀 哉	堂前 義 信	横手 寿 明	加藤 眞 純	杉澤 敏 明	西田 征 洋	山崎留 美子	議決結果
承認 第 1 号	雫石町税条例の一部を改正する条例の専決 処分に関し承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	承認
承認 第 3 号	令和 5 年度雫石町一般会計補正予算（第 10 号）の専決処分に関し承認を求めることにつ いて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	承認
議案 第 3 号	雫石町家庭的保育事業等の設備及び運営に 関する基準を定める条例の一部を改正する 条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
議案 第 5 号	令和 6 年度雫石町一般会計補正予算（第 1 号）	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 第 6 号	令和 6 年度雫石町国民健康保険特別会計補 正予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 第 7 号	令和 6 年度雫石町後期高齢者医療特別会計 補正予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○…賛成、●…反対、欠…欠席、－…退席 ※岩持議長は採決には加わりません。

★その他の承認、議案については、全議員が賛成いたしました。



議場バリアフリー化に一步前進
議場傍聴席に車イス専用スペース
が設けられました

令和 6 年度に入り工事着手したもので、既存の席を撤去し、車イスの方でもゆったり傍聴できる専用スペースが設けられました。本会議の傍聴は誰でもできますので、ぜひお気軽にお越しください。

傍聴席までの援助が必要な方は 3 階の議会事務局にお声がけください。

議会はインターネットでもオンライン視聴できます

次の 9 月定例会は 9 月 6 日（金）午前 10 時開会予定です。
インターネットでオンライン視聴もできます。
雫石町役場のホームページまたは、下記アドレスからご覧ください。

公開用 URL

<http://smart.discussvision.net/smart/shizukuishi/>

ここが
聞きたい

一般質問

町政を問う
12 議員が質問

一般質問は、議員が広く町政に関し報告や説明を求めたり、疑問をただしたりするものです。定例会ごとに実施されており、質問順は抽選で決定しています。

12
ページ

マイナンバーカードの
活用状況は

質問者／^{かね こ かず お}
金子一男 議員



12
ページ

埋設処分の除草剤
引き継ぎ状況は

質問者／^{にし だ まさ ひろ}
西田征洋 議員



12
ページ

アウトドア・アクティビティの
具体的な内容は

質問者／^{すぎ さわ とし あき}
杉澤敏明 議員



14
ページ

子育て支援の充実を

質問者／^{たか はし こう し}
高橋公史 議員



14
ページ

日本型クアオルト※を導入しては

質問者／^{はなけ やま みさお}
畠山 操 議員



14
ページ

国有林内に埋設された
除草剤の撤去は

質問者／^{やま ざき る み こ}
山崎留美子 議員



16
ページ

人口戦略会議の公表を
受けての考えは

質問者／^{さか い なお き}
坂井尚樹 議員



16
ページ

栗石駅空きテナントの見通しは

質問者／^{はば ひで や}
幅 秀哉 議員



16
ページ

メタボリックシンドローム
対策を

質問者／^{おか もと ただ み}
岡本忠美 議員



18
ページ

観光資源を活かした
具体的な計画は

質問者／^{お が さ わ ら ゆ り こ}
小笠原百合子 議員



18
ページ

防災マップの見直しは

質問者／^{とく た ゆき お}
徳田幸男 議員



18
ページ

鶯宿温泉地域
再興への取り組みは

質問者／^{どう ぜん よし のぶ}
堂前義信 議員



さらなる町民サービス向上に繋がるマイナンバーカード

質問者／金子一男議員
かねこかずお



マイナンバーカードの活用状況は

町長 国の施策に従い活用している

Q マイナンバーカードを利用して各種手続きがオンライン申請できるが、取り組み状況は。

A オンライン窓口として、行政サービスの検索やオンライン申請を可能とするポータルサイト「マイナポータル」を活用して住民移動手続き、妊婦の届け出、児童手当関係手続き、保育施設利用申し込みなどが行える。

Q マイナンバーカードを活用し窓口DX*の推進を。

佐賀県のある町では埋めた除草剤を掘り出して処理したそうです

質問者／西田征洋議員
にしだまさひろ



埋設処分の除草剤引き継ぎ状況は

町長 取り組みは担当課に引き継ぎされている

Q 町内に13か所、埋めてから50年以上経過しても、除草剤の撤去は進んでいない。担当課での引き継ぎ状況は。

A 除草剤の埋設処分は、林野庁が埋設箇所の調査を実施し、知事から東北森林管理局への文書要請を経て、県及び関係市町村で構成する。「2,4,5-T系除草剤埋設地問題連絡協議会」の設立や経緯など、その後の取り組みは担当課に引き継ぎされている。
*2,4,5-T系除草剤は、現在認可されていない広葉用除草剤・化学合成農薬である。

アウトドア観光施策は、目標（ビジョン）を示し進めるべきだ

質問者／杉澤敏明議員
すぎさわとしあき



アウトドア・アクティビティの具体的な内容は

町長 サイクリングなどもアウトドア・アクティビティとなり得る

Q 本年度の重点事業として、

アウトドアの体験型プログラムを核とする観光施策を推進するとしているが、アウトドアの体験型プログラムの中核となるアウトドア・アク



アクティビティの中核として期待されるサイクリング

A 住民票の写し及び印鑑登録証明書のコンビニ交付サービスを開始した。窓口交付部数は昨年と比較して住民票の写し約10%、印鑑登録証明書約3・8%減少し、利用者が増加していくと捉えている。



進むマイナンバーカードの利用

Q オンラインでの罹災証明書の交付申請は。

A マイナポータルでの罹災証明書の交付申請ができるよう取り組んでいる。大規模災害時は県と県内全市町村が共同運用する「岩手県被災者台帳システム」を活用して発行する予定。

*DX（デジタルトランスフォーメーション）：デジタル技術を活用して業務を改善すること。

農家へ経済的援助を

Q 農家を取り巻く状況は依然厳しい。農業者に対する経済的援助は。

A 農畜産物の販売価格や資材等の物価変動を注視し、国並びに県が実施する交付金及び補助金等を活用しながら的確に農家を支援していく。

旧上長山小学校の利活用は

Q 旧上長山小学校の一部で食堂を開き取り組んでいる。利用者が事業を継続していくことは可能ではないか。

A 旧上長山小学校は、市場調査としてレストランを営業している。浄化槽の容量不足などから期間及び曜日を限定し食堂部分の使用面積を縮小することで県から許可を得ている。今後は一部の利用ではなく、施設全体での利活用を想定しているため、現在の状況を続けていく考えはない。



閉校した小学校を活用した学校レストラン上翔

ティビティは何になるか。

A 登山、トレッキングツアーに加え、町内の豊富な自然資源や観光施設を自転車で周遊するサイクリングやキャンプも、町のアウトドア・アクティビティの中核となり得ると捉えている。

登録DMOに向けた支援

Q しずくいし観光協会に対する登録DMOに向けた、具体的な支援策は。

A 業務委託を行いながら効果的な戦略を策定し検証を行うための支援や、新たな観光プランの立案などをアドバイスしている。今後も収益が残るような仕組みについて連携しながら支援する。

稚魚放流量減少への考えは

Q アユが育たない原因は、カワウによる被害の他に、稚魚放流量の減少も指摘されている。町の考えは。

A 令和5年度は前年より少ない1450キログラムを放流したとのこと、その理由は適正量を放流する方針に切り替えたからとのことである。栗石川漁業協同組合と連携してカワウの被害対策に取り組む。

けっぱれ 光とともに夢をつかめ

質問者／高橋公史 議員



子育て支援の充実を

町長 本年度の重点事業として取り組む

Q 若者・子育て世代の移住定住促進支援の現状は。

A 町の最重要事業として掲げる、「若者・子育て世代に向けた移住定住と結婚・出産・子育て支援」の推進状況は5月末時点で申し込み2件あり、今後も移住定住施策を推進する。

ケッパレランドにナイター照明を

もはや殿堂入りのメタボリック率10年連続県内ワースト1位

質問者／畠山操 議員



日本型ファオルト※を導入しては

町長 健康寿命延伸の施策として参考にする

Q ケッパレランドにファオルト専門コースを整備し、鶯宿温泉の宿泊施設を利用した交流人口の拡大を。

A 専門コースの整備の予定はないが、鶯宿地域が持つ景観形成、温泉などの資源を活かした取り組みを調査・研究する。

脱メタボリック宣言を

Q 10年連続県内ワースト1のメタボリックシンドローム該当者を記録してい

町長と一緒に語り合う「町政懇談会」、町民は待ってますよ

質問者／山崎留美子 議員



国有林内に埋設された除草剤の撤去は

町長 撤去に向けた要望活動に取り組む

Q 国有林内に埋設された除草剤の「コンクリート固化」を裏付ける文書の内容確認は。

A コンクリート固化の確認について、令和4年、岩手県環境報告書にも記載されている。当該報告書記載の確認は調査実施から40年が経過しており、文書の確認はできていない。

Q 近年、災害による埋設地の土砂崩れ等が発生している。埋設物崩壊や下流に流出しないかとの不安の声を聞く。国は、撤

Q これまでにケッパレランド利用者よりナイター照明設置要望はないか。

A 一部の利用者、団体より指定管理者である町スポーツ協会へ設置希望の声はあるが、正式な要望は無い。本年度は「栗石町教育振興基本計画」、「栗石町スポーツ振興計画」の改定年で、施設整備は地域住民や施設利用者などの意見等を各種計画に反映させながら進めていく。



照明設備設置が一部望まれるケッパレランド

栗石町観光大使の主な活動内容は

Q 観光大使の協力による新たな観光PRの取り組みは。

A 首都圏を中心に国内外に観光PRとして観光大使の名刺に加えQRコード付き「観光カード」の配布と写真を通じた観光誘客に取り組んでいる。今後も観光大使の活動状況をもとに方向性について検討していく。

る。「脱メタボリック宣言」をして取り組むべきでは。

A 広報しずくいしで「脱メタボへの道」という特集を22回掲載してきた。今後も事業をより充実していく。



脱メタボへの道は、一朝一夕にはいかない

子どものうちからの肥満対策は

Q 小学生の肥満傾向が増加しているが対策は。

A 令和5年度は改善傾向にある。「栗石町教育振興基本計画」などに基づき、食育の推進、食の指導、生活習慣病対策の個別指導に取り組んでいる。

※クアオルト・ドイツ語の「療養地・健康保養地」の意味で、日本ではクアオルトウオーキングとして全国に広まりつつある。

去を求める方針に転換しているが、モデル地区自治体としてアクションを起こす考えは。

A 処理方法確立後の埋設物早期撤去に向け、昨年度から東北森林管理局に対して強い要望をしている。本年度は県に対し同様の要望を行った。今後も早期撤去を目指していく。

町政懇談会の開催は

Q 町政懇談会は住民の意見を聴く会として必要不可欠と思う。若い世代や重要な施策に絞り開催しては。

A 次世代への担い手となる若い世代の意見を聴く

ことは、町の施策を考える上で重要と認識している。重要な施策に絞った開催は、町民の注目度が高いものや重点を置く必要があるテーマを設定した開催方法についても検討していく。



昨年行われた町政懇談会

人口減少をゆるやかにするため、女性が活躍できる場の創出を

質問者／坂井尚樹 議員



人口戦略会議の公表を受けての考えは

町長 自然減と社会減を組み合わせた対策を進める

Q 人口流出の課題への対策は。

A 第1子から出産祝い金、給食費の半額補助など他市町村に負けない支援策を講じている。新たに若者向け住宅取得支援奨励金、保育料第1子から無償化など支援の充実を図る。若年層に対しては、移住定住施策、子育て支援策の充実とPRに努め、県・盛岡広域自治体との連携を図りU・Jターンの取り組みを進める。

「元気な若者達の合宿が町に活気をもたらす」誘致に本腰を入れるべき

質問者／幅秀哉 議員



栗石駅空きテナントの見通しは

町長 夏から秋にかけて営業を開始する見込み

Q 栗石銀河ステーション、空きテナントの今後の見通しは。

A 空きテナメントについては、令和6年の夏から秋にかけて営業を開始する見込みで



8月にオープン予定の銀河ステーション1階レストラン

自転車で長山街道ぐるめ巡りもいいよね

質問者／岡本忠美 議員



メタボリックシンドローム対策を

町長 計画を確実に実施し健康課題に取り組む

Q メタボリックシンドローム該当者が県下ワースト1で推移している。この対策に向けてどのような取り組みか。

A 10年連続でワースト1を継続しており、町における大きな健康課題と捉えている。各世代における「生涯健康幸づ



減少に向け取り組むメタボ対策

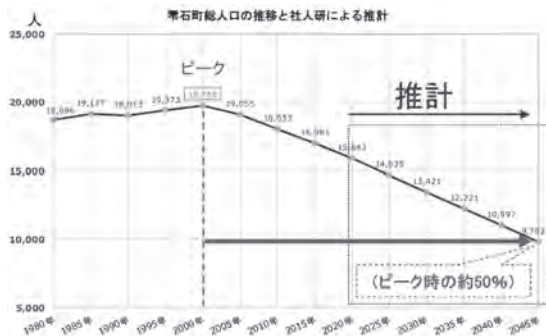
Q 女性の雇用の場を創出する取り組みは。

A 本町独自の取り組みだけでなく、近隣市町村、県、各関係団体と連携・協力をしながら女性の就業や起業を支援する。

小中学生の全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果の傾向は

Q 令和5年度小学5年生と中学2年生を対象に行われた全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果の傾向は。

A 「体力合計点」の結果は令和4年度より上昇しており、全国・県と比較して高い傾向である。



2045年の人口はピーク時の半減になる予想

あると聞いている。町からの指定管理料は栗石銀河ステーションの維持管理と観光物産センターの運営経費を積算したもので、施設の空きテナントを運営するために必要な人件費等は含まれていない。

観光協会とともに情報発信を

Q いわて栗石アーチェリーセンターが令和6年度、高校総合体育大会の会場となり利用者に観光資源をPRするチャンスである。しずくいし観光協会とともに情報共有や発信をどう考えているか。

A 施設の活用と体験コンテンツの充実にについて、生涯文化スポーツ課と観光商工課が連携し、しずくいし観光協会と情報共有を行いながら、首都圏旅行会社等に向けて情報発信を行っていく。

Q 町全体の観光資源とアウトドアを結びつけるとき、しずくいし観光協会の位置づけは。

A 町全体の観光資源とアウトドアを結びつける基幹団体として位置づけ町と一体となり、他の関係団体や民間企業などと連携した事業推進が重要であると考えている。

くり」の取り組みを進めるとともに、健康づくりに関連する各計画に定める事項を確実に実施し、課題の克服に向けて取り組む。

受診率向上に向けた対策は

Q 各種がん検診の受診率を向上させるための対策は。

A ガン検診の重要性を普及啓発するため広報による周知のほか、未受診者への受診勧奨を行っている。今後は国が示した受診率向上施策ハンドブックも活用し、受診率向上に努める。

長山街道エリアの整備は

Q 長山街道における道路周辺の清掃管理と案内標識設置の整備が必要と思うがその取り組みは。

A 道路周辺の清掃管理は、町の管理で行っているほか、地域住民の道路愛護活動等の協力を得ながら行っており、引き続き適切な維持管理に努める。

新たな案内標識を設置する予定はないが、町が作成している観光パンフレットなどを活用して観光客に向けた長山街道エリアの案内に努める。

町の魅力をPRするには、もっと情報発信の工夫が必要と思う

質問者／小笠原百合子 議員



観光資源を活かした
具体的な計画は

町長 アーチエリー体験を利用した商品を検討している

Q 観光資源の魅力を高め観光客獲得に
つなげる具体的な計画は。

A 町や観光協会は、各事業者の個別の努力をどう結びつけるかが役目と捉えている。観光客獲得に向け、アーチエリー体験を活用した商品の検討や合宿と大会誘致に併せ、宿泊補助をし、継続的な宿泊促進の取り組みを推進する。

Q 観光施設を結ぶ公共交通の計画はあるか。

空き家の解体費用に要する基金の創設を

質問者／徳田幸男 議員



防災マップの
見直しは

町長 令和9年以降に作成する

Q 土砂災害警戒区域の河川に栗石川のほか5河川が追加されたが、防災マップ見直しの進捗状況は。

A 令和5年12月、県から新たな「土砂災害が発生する恐れのある箇所」が公表された。現在その現地調査が令和9年ごろまでの予定で県内全域で進められており、住民への説明が行われた後に指定となる予定である。指定された後防災マップを更新し、世帯配布を行うことが望ましいと考えている。

鶯宿温泉再興には、よそ者若者ばかりの力が絶対必要だよなあ

質問者／堂前義信 議員



鶯宿温泉地域
再興への取り組みは

町長 地域の事業者や関係者の実情にあつた支援を行う

Q 休業や廃業、経営者の高齢化、後継者不足など、厳しい状況が続く温泉街の再興に向けた取り組みは。

A 第三次栗石町観光・交流活性化行動計画に温泉街再活性化を位置づけ、誘客の促進や観光要素の整備を定め



再興への取り組みは急務

A 交通事業を取り巻く環境が非常に厳しい状況にあるが、自家用運送している宿泊施設に対し、国土交通省の規制緩和の情報共有や話し合いなど、事業者間の連携を図っていく。

気軽にできる運動習慣実施の考えは

Q ラジオ体操などの運動習慣作りを実施しては。

A 現在実施している「雫石フィットネス教室」や「ノルディックウォーキング体験会」、「シルバーリハビリ体操」などを通じて町民の健康づくりに努めてきた。

本年度、改訂作業を行う「雫石町スポーツ推進計画」やラジオ体操を含め町民の運動習慣づくりに取り組んでいく。



健康づくりにつながるシルバーリハビリ体操



氾濫により被害を受けた町内の水田
(平成 25 年の被害)

空き家解体費用の補助を

Q 空き家が解体されない大きな要因は、高額な解体費用にある。空き家の解消のため、費用補助しては。

A 財源の確保という課題もあり、解体費用の補助制度を創設する予定はない。空き家の解消に向けた相談に応じつつ、国や県に対して財政支援を要望していく。

地域安全マップの作成を

Q 小学校教育の一つとして、地域安全マップづくりに取り組んでは。

A 児童の安全対策に有効であると考えられることから、各小学校に活かしてもらうよう事例紹介する。

ている。また、今年度実施予定の首都圏での商談会で、宿泊向けのアーチエリー体験などのPRに努める。今後は、地域の事業者や関係者の実情にあった支援を行い、温泉街再興に向けた取り組みを推進していく。

地域おこし協力隊の活用は

Q 地域おこし協力隊の受入状況や定住状況、任期終了後の定住支援はどうなっているか。

A 現在2名が観光商工課に配属されている。これまでに、20名採用しており、7名が定住している。任期終了後の住まいに関する補助金や、起業を目指す場合の支援をしている。

関係人口※創出の取り組みは

Q 農業に関する関係人口の取り組みと支援は。

A 体験農園や農山村体験などを通じ、都市と農村の交流を実施していく。取り組みを進める事業者への支援は現時点ではないが検討していきたい。

※特定の地域に継続的に多様な形でかわる人のこと。

総務産業常任委員会

[徳田幸男委員長]

調査1 遊休農地の解消 現状と解消に向けた取り組み

6月12日、所管課である農業委員会より、町内の遊休農地について聞き取り調査をしました。令和5年の調査結果として、遊休農地81筆、18haで、年々増加していることを確認しました。解消に向けた取り組みとして、個別指導や農地の斡旋等により遊休農地の解消や農地の利用集積に結びつけるとのことでした。

調査2 鶯宿温泉の活性化 鶯宿エリアの取り組み実績

6月12日、所管課である観光商工課より、鶯宿温泉の空き旅館・空き店舗の状況と合宿誘致の取り組みについて聞き取り調査をしました。空き旅館、空き店舗は、ホテル・旅館が4軒、店舗が4件あることを確認しました。令和5年度の合宿実績は、利用者数38日間のべ649名とのことでした。

調査3 国直轄砂防事業 うさぎ平西沢砂防堰堤視察

6月12日、砂防堰堤整備を進めているうさぎ平西沢砂防堰堤の現地調査を行いました。岩手山における不安定土砂の流出及び火山噴火による降灰後の降雨に起因する土石流等に対し、砂防堰堤整備により下流域の安全性向上を図る目的から整備を行っており、令和9年度完成予定とのことでした。



工事の進捗状況を調査する委員たち

教育民生常任委員会

[堂前義信委員長]

調査1 教育費の補正予算 栗石中学校のセミナーハウスの施設整備

6月12日、所管課である学校教育課より、一般会計補正予算（第1号）に係る教育費の補正内容について説明を受けました。その後、セミナーハウスに移動しエアコンの設置希望箇所を視察しました。同校には活用されていない空き教室もあるものの、休日の部活動において学校の施設管理が難しく、セミナーハウスを活用する場合、保護者による施設管理が可能なためセキュリティ面や生徒たちの体調管理においてもエアコン設置が必要との説明を受けました。

調査2 町の公共交通 まちなか巡回バス

6月12日、所管課である総合政策課より、まちなか巡回バスが令和6年4月1日から東町まで延伸したことにより、その利用状況について説明を受

けました。

令和4年10月より実証運行を開始し、月利用度が最高数となりました。特に東町からの乗車数が増えています。利用形態としては中心市街地への買い物や通院、金融機関などへの行き来で、今後は利用者から時間配分について聞き取り検討していくことについて説明を受けました。



中学校第3校舎の活用状況も確認

広報広聴常任委員会

[坂井尚樹委員長]

- 令和 6 年 4 月 10 日
議会だより 129 号初校編集会議を開催しました。
- 令和 6 年 4 月 16 日
議会だより 129 号再校編集会議を開催しました。
- 令和 6 年 4 月 19 日
議会だより 129 号念校編集会議を開催しました。
また、議会広報の編集方針について協議しました。
- 令和 6 年 4 月 25 日
議会だより 129 号発行。
- 令和 6 年 5 月 15 日
議会広報の編集方針について協議しました。
- 令和 6 年 6 月 6 日
議会だより 130 号の編集日程及び閉会中の継続調査について協議しました。

視察研修 茨城県つくばみらい市議会広報特別委員会来町

7 月 10 日、茨城県つくばみらい市議会議長ほか広報特別委員会委員 6 名、事務局 1 名が来町、「議会だより」の表紙や特集記事の選定方法、紙媒体と SNS による情報発信の在り方などについて意見交換を行いました。



活発な意見交換を実施

議会運営委員会

[幅秀哉委員長]

視察対応 葛巻町議会 輝くふるさと常任委員会来町

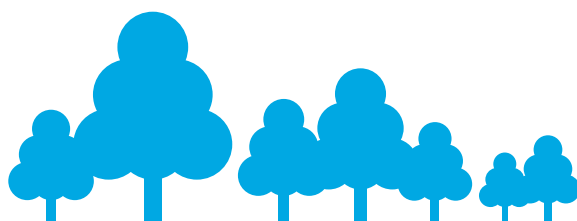
4 月 16 日、葛巻町長をはじめ葛巻町議会議長と輝くふるさと常任委員会 8 名、事務局 2 名が来町しました。「企業誘致」をテーマとして先進事例調査に訪れたもので、これまでの雫石町の取り組み、成果や課題を示し、今後の企業誘致についての課題なども情報共有しました。



企業誘致事業について説明

議会改革への取り組み

「岩手県内自治体における SNS を活用した情報発信」
「雫石町議会広報編集要領の一部改正」
「町当局の議会説明に関する申し合わせ事項の見直し」
「議長交際費取扱基準及び雫石町議会議員互助会会則の見直し」
「会議時の礼節に関する申し合わせ事項の見直し」
について協議、検討しました。





や た がい ゆきたか
谷田貝 幸隆さん (11歳・矢用)

すてきな町、雫石

雫石町は小さい子からお年寄りまでスポーツをしているし、自然も豊かです。山に囲まれていて川もきれいです。ほかにもいっぱい遊ぶところがあります。あと雫石町はたくさん虹が出てきれいです。ぼくはこんなすてきな雫石町が大好きです。



けむやま せいじろう
煙山 清二郎さん (78歳・鶯宿)

開湯 451 年の銘湯鶯宿温泉

私は鶯宿温泉の中心街で生まれ、育ち、最近まで暮らしてきました（今は周辺で暮らしています）。鶯宿温泉の湯は、湯量が多く、泉質はアルカリ性単純泉で、神経痛、筋肉痛、関節痛、疲労回復、冷え性、五十肩、切り傷などに効きます。私は雫石の宝だと思っています。



皆さんの声を聞きました

議員が町内を歩いて
皆さんの声を聴く VOICE シリーズ。

今回は「しずくいしの宝物は」です。



うえむら さな
上村 紗奈さん (25歳・小日谷地)

自然と人の温かみ

主人と出会い雫石町に嫁いで4年になりました。雫石町がどのような町か分からない中、目で見て肌で感じたのは、広大な自然と人の温かさでした。子育てをしていくうえで、この環境は子どもたち、私にとって最高の町だと思いました。まだ4年という短い間で雫石という町が大好きになりました。



たけだ せんいち
武田 千一さん (65歳・高前田一)

温泉が豊富

雫石には東西南北に温泉が多数あります。町民皆さんが生活している近場に温泉があるので温泉愛好者は多数（町外からも）利用されています。ちなみに私も温泉愛好者で、現在もほぼ毎日利用しています。お陰様で温泉仲間も多数おります。温泉地が豊富であるのも雫石町の宝物です。



在京雫石町友会会員 **かつた 勝田 祐治さん**

母の故郷・雫石町

私は昭和27年6月に、滝沢村（現滝沢市）大釜に4人兄弟（兄姉姉）の末っ子として生まれました。母の実家（雫石町御明神地区、旧姓石塚）には小・中学生の頃によく遊びに行っていました。滝沢から観るのとは全く違う岩手山の景色や雫石川での川遊びの思い出があります。私は子供の頃から健康に育ちましたが、母親は交通事故の影響で中二の時に亡くなっているので、今度母を偲んで思い出の場所を巡ってみたいと思っています。

小学6年の時東京オリンピックがあり聖火ランナーを鼓笛隊としてお迎えした思い出があります。また高校生の時はブラスバンド部所属でしたので岩手国体では、特別チーム（トランペット30人、トロンボーン・ホルン各10人）で私はホルン奏者として各会場でのファンファーレ演奏を担当しました。郷土の伝統行事「チャグチャグ馬コ」は子供の頃から楽しんできましたが、この年齢になるとより興味が湧いて楽しみな行事になりました。健康管理の一環として始めたペタンク^(注)を今では趣味となり週2回の練習と年6回「座間専科クラブ」として神奈川大会に出場しています。

昭和27年生まれ。篠木小学校－滝沢南中学校－盛岡商業高校－三菱銀行（現三菱UFJ銀行）－MUCC（人材派遣会社）座間市栗コミフォトクラブ事務局－滝沢ふさと会会長
趣味：写真・ペタンク・カラオケ。神奈川県座間市在住。

また若いころから写真の趣味があり現在は「座間市栗コミフォトクラブ」の事務局を担当して、市のHPへ月2回メンバー全員の写真掲載作業をしています。（栗コミフォトクラブで検索）

趣味のカラオケは主にサザンオールスターズや長渕剛を楽しんでいますが時には演歌も楽しみ、雫石出身の福田こうへいさんの南蝉しぐれや峠越えを聞いていると故郷の風景がなつかしく浮かんできます。帰省した時に必ず行くのは小岩井農場。一本桜や牛や羊の放牧風景など広々とした絵になる風景には癒されます。雫石とは同じような環境・空気です。育ってきたので自分の故郷のような気持ちです。昨年から滝沢ふさと会の会長をしています。雫石町友会と連携して両市町のふさとのPRに努力していきたいと思っています。

（注）ペタンク

フランス発祥のスポーツ。東京パラリンピックで有名になったボッチャ（イタリア発祥）とはルール等とても似た競技で兄弟競技と言われる。ボールが鉄球であることや主に屋外でやる違いがあり、またボッチャは車椅子競技者が多いがペタンクは健常者の中高年男性に競技者が多い。ボッチャの基になった競技とも言われている。



滝沢ふさと会（前列右から3番目筆者）



栗コミフォトクラブ（前列中央筆者）



ペタンク競技風景

雫石町へようこそ

＼ ご縁があり、雫石町民になった ／

さわぐち そら
沢口 大空さん (20 歳) | 下町 1 | ※岩手県九戸村出身

Q 雫石町へ住み始めたきっかけは。

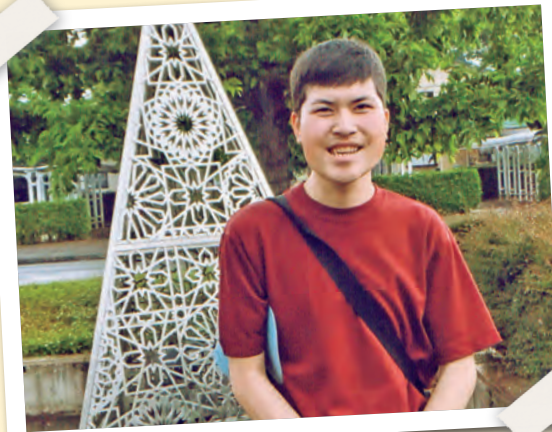
A 就職のため雫石町に住み始めました。

Q 雫石町に暮らしてみているいかがでしょうか。

A 今年5月に車を購入したので、これからゆっくりと雫石町の宝を探したいと思います。

Q 町に望むことは。

A どの市町村にも言えることですが、人口減少対策や少子化対策、雫石高校存続のために頑張ってもらいたいと思います。



雫石銀河ステーション南口で

なかよしシリーズ②⑤

今月の
表紙

写真左から
のあ 乃愛さん
しおん 詩音さん
ゆつき 悠月さん
ひなた 陽向さん



かみさわ だ ひろゆき まい
上澤田 博之さん、舞さん（横欠）のお子さん
なかよし4きょうだいです。

将来の夢は何ですか。

長女 乃愛さん(16歳)：保育士

長男 詩音さん(12歳)：バレーボール日本代表
(ブロッコリー農家)

次男 悠月さん(8歳)：野球選手

三男 陽向さん(6歳)：サッカー選手

情報公開

●議長交際費執行状況

【議長交際費とは】

議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

【議長交際費内訳（4月～6月）】

月	葬祭費		お祝い、会費	
4月	1件	44,000円	2件	23,000円
5月	1件	20,000円	4件	16,500円
6月	0件	0円	4件	18,000円
合計	2件	64,000円	10件	57,500円

※議会の動きはHPに掲載しています。

■編集デスク

岩手山の雪も解け、水田の田植えも終わり夏の足音がすぐそばに感じられる季節になりました。今年の夏も暑くなりそうな予感をしております。熱中症対策にご油断無く、農作業やお仕事に頑張ってください。議会だよりは、さらに読みやすく親しみやすい広報づくりや町民の皆さまの声を聞く広聴活動に取り組んでいきたいと思っています。

(広報広聴常任委員会 金子 一男)

発行責任者(議長)／幅 秀哉
編集委員長／坂井尚樹
副委員長／畠山 操

編集委員／岡本忠美・徳田幸男
金子一男・高橋公史
小笠原百合子